

札幌社保協 FAXニュース

2017年 7月14日(金)
社保協事務局 発行
Tel823-0867 Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

国保・介護・後期
高齢者110番は
7月27日(木)です

札幌社保協 2017年総会

憲法改悪、社会保障解体を許さず、 要求と改善運動の強化を！

札幌社保協2017年度の第20回総会が、7/8の午後札幌市内白石区で開催され、加入団体から40人が参加しました。

第1部の学習講演では、「診察室から見える子どもの現状～子どもの貧困と健康」と題して、勤医協菊水子ども診療所の岡田 靖所長が講演しました。世帯収入によって小中学生の健康と生活実態に差が出る、低所得層で女兒の出生体重が低い、入院助産制度利用の社会的背景など、初めて聞く人は驚く内容が多く、とりわけ16歳以下の出産事例では貧困が色濃く反映している実態に、衝撃を受ける参加者も多くいました。



【報告と提案】

事務局の報告では、2016年度の国保料引き下げ運動が多く団体の力で36000を超える署名を集めて陳情を行い、高すぎる国保料が市民はもちろん、行政・議会でも共通認識になったことが強調されました。また多くの区社協が中心となったSOS相談会の開催も特徴でした。2017年度の方針では、①憲法改悪反対、②25条を活かす活動、③最賃の確立、公契約条例制定、④生活保護、年金改悪反対、裁判の支援、⑤国保料の引き下げ、改善、⑥医療改悪実施中止、⑦介護改悪反対、総合事業の改善、⑧保育と労働者の処遇改善、⑨生活困窮者支援と相談活動、⑩子ども医療費無料化拡大、⑪社保協の強化などが提案され、署名としては「無料低額診療の薬代助成を求める署名」を、全団体に集めようと提起されました。

【各団体などからの発言】

●小形・平岡市議～国保料引き下げ、子ども医療費助成、保育料軽減、子どもの貧困調査などについての秋元市長の姿勢について報告。●新婦人札幌協議会～国保料引き下げ署名の取り組み、就学援助制度を知らせる運動と3月支給実現を市へ要請、子ども医療費助成拡大、医療や介護カフェの開催などを報告。●保健企画～無料低額診療への薬代助成を求める署名の取り組み、無料低額診療を利用されている方の訪問活動と実態の紹介。●保育労組～専門職である保育士の処遇改善が急務、一方で国の処遇改善のやり方は保育士の間に差をつけて分断するようなやり方をしていると報告。●年金者組合～最低保障年金の実現と年金支給月の宣伝行動、年金の減額に対する裁判闘争への支援について報告。●勤医協在宅グループ～市で始まった介護総合事業の実態、保険者機能強化で介護を利用せない方向へ進めていく改悪を報告。

方針案、決算、予算案は全体で確認され、役員は以下の方が選任されました（敬称略）。
代表委員：高崎裕子（弁護士）、堀毛清史（勤医協理事長）、佐藤宏和（道生連事務局長）、（地区労連の代表委員は定期大会で確認）。事務局長：斉藤浩司（勤医協）、事務局次長：木幡秀夫（勤医協在宅グループ）

SOSネット西区相談会

6/23、SOSネット西区の今年度1回目の相談会が、区民センターで行われました。

●相談総数13件（重複あり）

件数内訳：生活福祉-4件、医療・介護-2件、法律-5件、金融-1件、住まい・暮らし-2件、年金-2件。相談スタッフ31人でした。

●相談内容

障害年金について知りたい、生保廃止になった場合の法テラス等支払い、成年後見人について知りたい、国保料が高くて払えない、独居の母親の物忘れが気になって来た、国保加入する必要があるが保険料滞納100万円あり、払えない



各区の国保110番に、切実な相談



北区～2日間で14人の相談

「7月から収入が減るので国保料が大変」、「年金の1割の支払い、何とかならないか」。北区社保協と守る会が中心になった、国保・介護・後期高齢者医療110番相談会が6月22日・29日と2回開催されました。

22日の相談会には、市営住宅に住む女性が「勇気を出して来た。この夏から収入が減るので、国保料の負担が大きい」と来場。所得激減減免の対象に2人がなりました。夫婦で

290万円の年金収入、国保料・介護保険料が22万円になり「天引きされているが高い。下がらないか」などと、負担軽減を求める相談には9人が来ました。29日の相談会では、支払いの分割相談が2件ありました。

守る会や社保協では、相談会に向けて団地や地域に4000枚のビラを配布。民主団体の新聞にも折り込みしてもらい、12000枚の宣伝をしました。（守る新聞7/14の北区守る会津島さんの記事を参考にしました）

白石区～生活のために働く収入で保険料が高くなる

6/29市内いっせいの相談会で白石区の会場には、65才と71才の女性が相談に。年金はあるのですが、それだけでは生活に足りないため、働いています。その分課税世帯になり、国保・介護の保険料が、高くなってしまいます。わずかな年金と、生活のための労働収入が、高い保険料となって暮らしを圧迫する。日本の高令者の構図さながらです。

71歳の女性は自分の年金が少しあるのですが、夫は無年金で介護も必要なため、働いて生活費を工面していました。確定申告をきちんとし、世帯分離なども検討して軽減を図ることになりました。

65才の女性は、住民税や国保料が少しでも安くならないか、初めは区役所へ相談したそうですが、そこで110番や守る会を紹介され、ここへ来たそうです。

白石では6/24にも地域の会館で相談会を開き、介護で悩んでいた女性が、ケアマネ資格を持つ相談員に話を聞いてもらい、アドバイスも受けて、とても気が楽になって帰られた事例もありました。



北海道の子ども医療費を
中学校卒業まで無料にして！

子ども医療費無料化を求める
北海道ネットワーク結成集会

7月22日(土) 10:00～12:00

札幌東区民センター 別館集会室C

資料代:300円

基調報告

北海道の子どもの現状を考える

～北海道子ども生活実態調査から～

大澤 真平氏

札幌学院大学人文学部准教授

「新・人間裁判」街頭宣伝

生活保護基準引き下げは、憲法違反！

7月20日(木) 12:15～13:00

大通公園西3丁目

「生活保護制度を良くする会」総会

8月26日(土) 13:15～15:30

札幌市教育文化会館301研修室

くらしのSOS
なんでも無料電話相談

7月25日(火)

10:00～17:00

0800-080-0058

フリーダイヤル・無料です

くらし、法律、医療・介護、労働、借金問題など、様々な相談に専門家が対応